

市では、市民と企業との距離を縮め、お互いに対話・協力できるような関係づくりに取り組んでいます。

市内企業がどんなことをしているかを知ることを通じて、市民がその企業を身近な存在と感じ、企業も地域の一員であると認識することは、地域を活性化させていくために重要なことです。

今回は、市内に工場のある富士電機㈱に話を伺いました。「地域の方々に、当社の見学をしてもらい、その体験が日野市での記憶として残ってくれる。そんな地域と

のつながりを大切にしたい取り組みを進めていきたい。富士電機は、エネルギー・環境技術を中心に、安心して水が飲め、家庭に電気が安定して送られるなど日常生活にかかせない技術を提供し、持続可能な社会の実現に向け貢献している企業です。このような企業や社員が地域にいることを知ってもらえれば」と話す島谷さん。

市民と企業、それぞれが互いを知り、顔の見える関係を作っていく。そんな取り組みが始まっています。

問 地域戦略室 (☎514-8038)



▲写真左から 富士電機㈱総務課 島谷広則さん、千木良誠さん (富士電機㈱東京工場本館で撮影)

平成27年11月に完成した本館は、富士電機㈱の最先端の研究拠点として整備されました。建物の新設には、市の企業立地支援制度が活用されています。この制度は、企業立地・企業誘致活動の一環として市内に工場や事業所などを新設・拡張した場合に固定資産税・都市計画税相当額が助成されるものです。